『富富富』情報（第5号）

令　和　３　年　９　月
ＪＡなのはな「富富富」ブランド化推進協議会

今年は出穂後、８月中旬が低温、低日照で推移した影響で、成熟期はやや遅くなると見込まれます。

収穫直前まで適切な水管理を実施すると共に、籾黄化率８０％から刈取りを開始し、立毛胴割れを防ぎましょう。

また、適切な乾燥・調製を行い、高品質な富富富に仕上げましょう。

1　適切な管理の徹底

(1) 刈取りの５～７日前までは、「間断かん水」を行い、ほ場内での胴割米の発生を防止しましょう。
※フェーン等の高温乾燥が予想される時は、事前に入水し、稲体の活力を維持しましょう。

(2) 収穫前にほ場を巡回し、クサネムや水稲の異茎株を確実に抜き取りましょう。

異茎株（抜き上がり

クサネム

2　適期刈取りの励行

●籾黄化率８０％からの刈取り

(1) コシヒカリより籾の黄化がやや遅くなる傾向があります。胴割米の発生を防止するため、刈り遅れに注意しましょう。
(2) ほ場ごとに籾の黄化状況を必ず確認しましょう。
(3) コシヒカリと同程度の黄化であれば「富富富」を優先に刈取りましょう。

表１　出穂期からみた刈取適期の目安

出穂期	刈取始め（籾黄化率80%）
8月3日	9月 13 日頃～
8月7日	9月 18 日頃～

注：実際の収穫は、各地域で設置する「刈取適期表示」も参考にして下さい。

3　適切な乾燥・調製

(1) 玄米水分１４.５～１５.０％に仕上げましょう。
（毎時乾減率０.８％以下での乾燥とし、手動水分計でこまめに測定して仕上げましょう。）
(2) １.９ｍｍのふるい目による選別を徹底し、状況に応じて色彩選別機を活用しましょう。

【秋の農作業安全運動実施中】
※熱中症や用水転落事故にも注意しましょう。